

# 第Ⅳ章 学校教育関係アンケート

## 4 公立中学校

■対象 市内にある公立中学校 11 校に対し、回答があったのは 10 校(回収率 90.9%)

【問 1】平成 23 年度までさかのぼり、貴中学校が主催する、生徒（全学年、または学年単位で実施するもの）を対象とした、芸術家・団体による芸術（音楽・演劇・舞踊・古典芸能・美術等）分野の鑑賞または体験事業を実施したことがありますか。

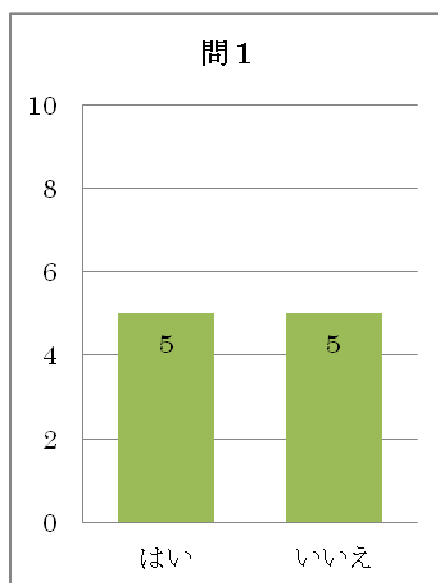
（注）鑑賞事業…芸術家・団体の実演（演奏・演じる・踊る・創作など）を鑑賞するもの

作品鑑賞…芸術家・団体が制作した作品を觀賞するもの

体験事業…芸術家・団体が、生徒に対して、演奏・演じる・踊る・創作させるなど体験させるもの

はい →問 2・3 へ

いいえ →問 4 へ



■「はい」と答えた中学校は5校、「いいえ」と答えた中学校は5校となっている。

【問 2】問 1 で「はい」と答えた貴校におたずねします。平成 23 年度から 25 年度ごとに実施した内容についてお教えてください。該当するものに○印で囲んでください。（複数回答可）

■平成 23 年度～25 年度実施（予定を含む）

事業のタイプ ①鑑賞事業 ②作品鑑賞事業 ③体験型事業

会場：①体育館・講堂 ②その他校内（具体的に： ） ③学校外（具体的に： ）

ジャンル：①音楽（クラシック・ポピュラー・その他）

②ミュージカル

③演劇・人形劇

④舞踊（ヒップホップ・ジャズ・コンテンポラリー・クラシックバレエ）

⑤伝統芸能（能・狂言・歌舞伎・文楽・謡曲・詩吟・日本舞踊・邦楽など）

⑥美術（洋画・日本画・版画・書など）

⑦その他（具体的に： ）

芸術家・実演団体名：（ ）

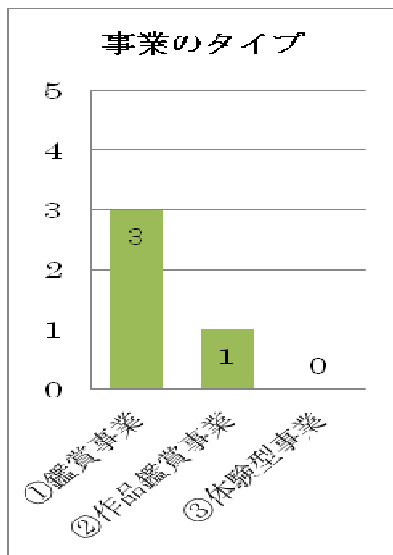
芸術家・実演団体の出演料・委託料（ただし1事業あたり。出演料・委託料がない場合は記入不要です）

①5万円未満 ②5万円～10万円未満 ③10万円～15万円未満

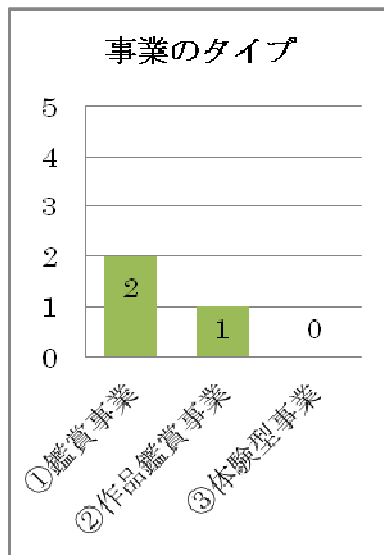
④15万円～20万円未満 ⑤20万円以上

費用捻出先：①市・教育委員会の予算の範囲 ②PTA会費 ③家庭からの徴収 ④その他（ ）

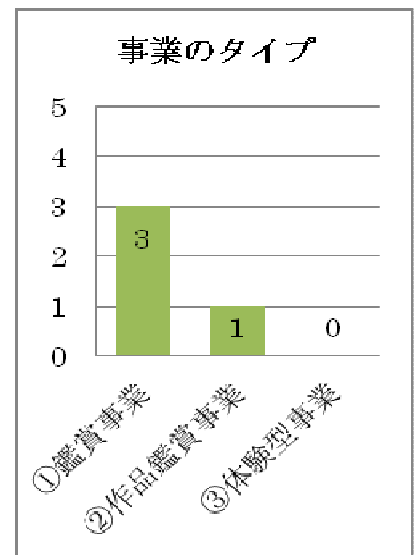
平成 23 年度



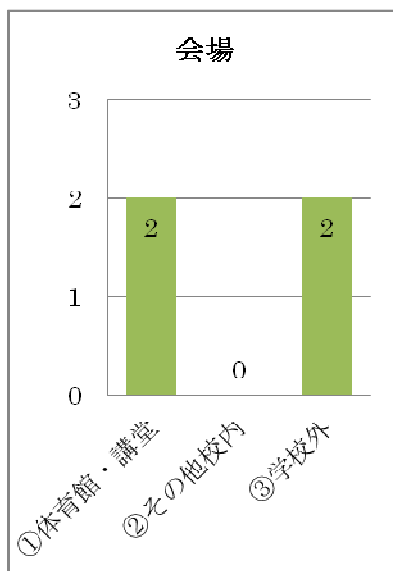
平成 24 年度



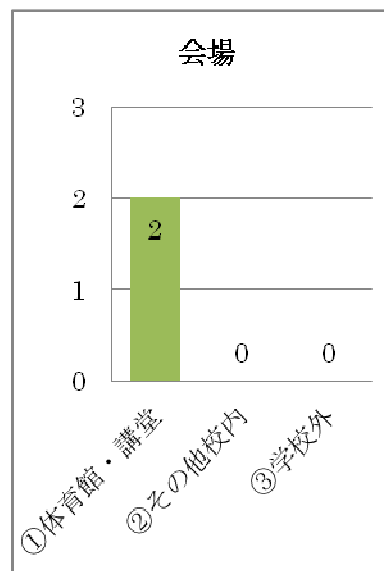
平成 25 年度



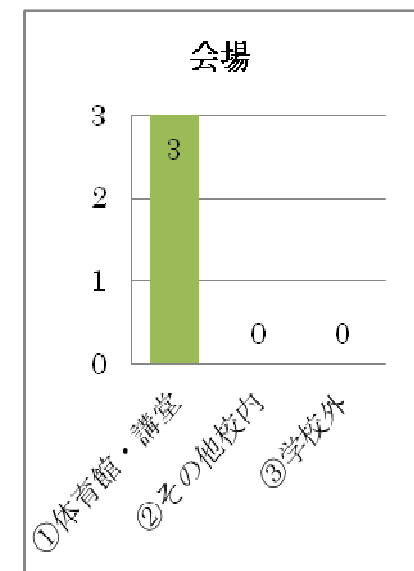
平成 23 年度



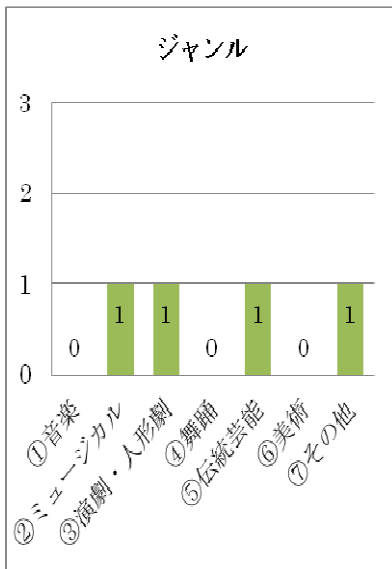
平成 24 年度



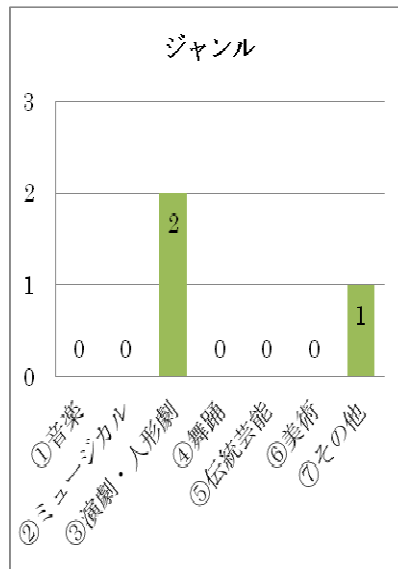
平成 25 年度



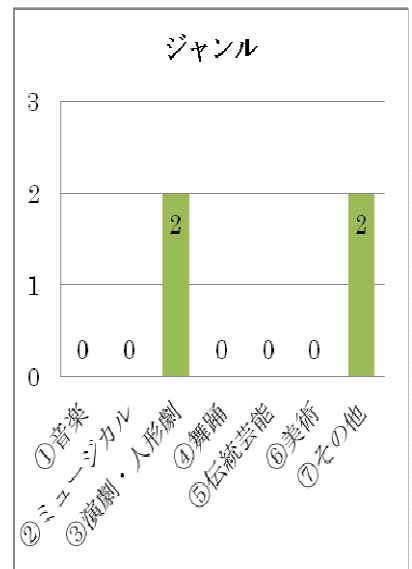
平成 23 年度



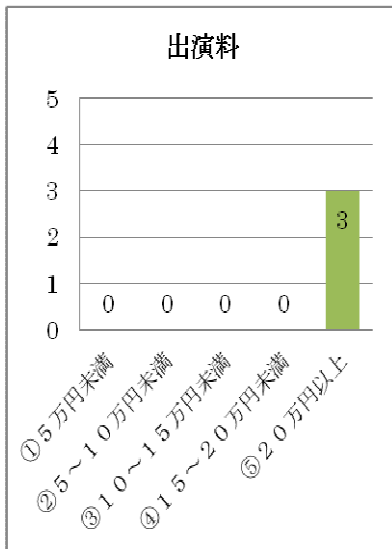
平成 24 年度



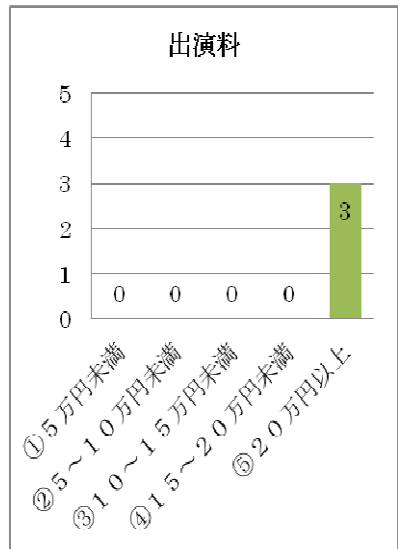
平成 25 年度



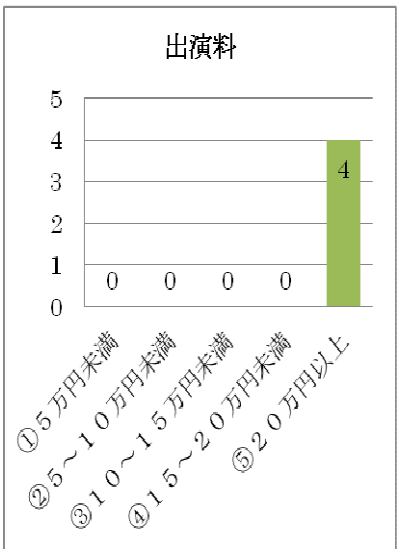
平成 23 年度



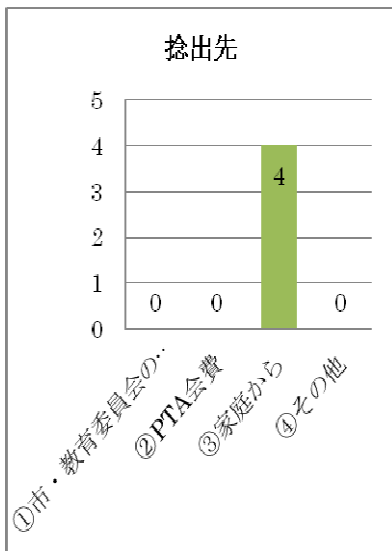
平成 24 年度



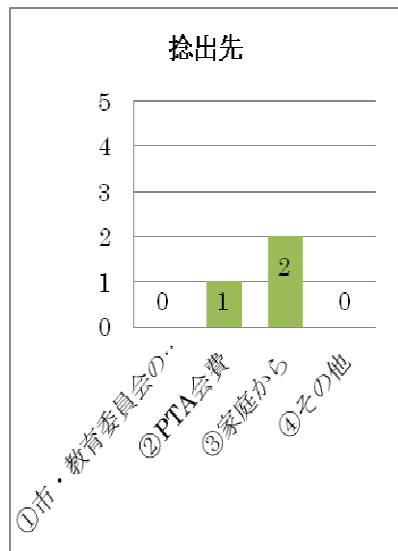
平成 25 年度



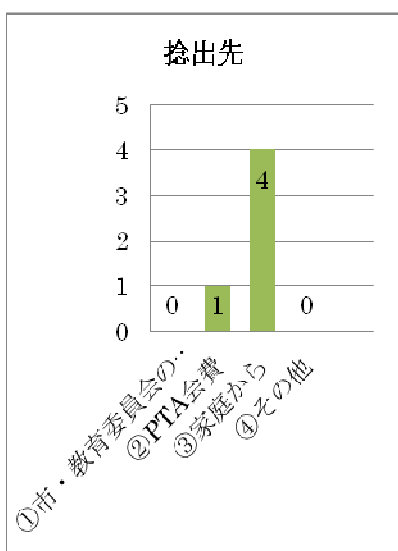
平成 23 年度



平成 24 年度



平成 25 年度



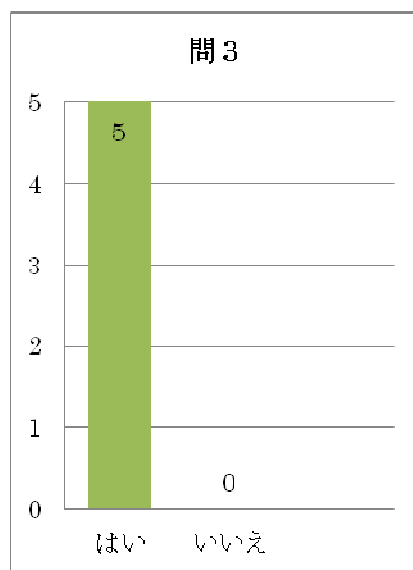
【注】問2は、平成23年度から25年度までの3年間において実施した事業の有無、その内容に関する質問等であるが、年度によって実施しない場合や、年度によって複数事業を実施する場合があります。問1で「はい」と回答した件数と合わない。

■主に鑑賞事業となっており、作品の鑑賞は少数、体験型の事業においては該当がなかった。主な会場は学校内の施設になっている。校外に出ることは費用がかかるためと考えられる。最も多いのは演劇・人形劇となっているが、中学校によってはミュージカルや伝統芸能も鑑賞されている。出演料については全事業20万円以上と、最も高い選択肢が選ばれている。費用の捻出先は主に家庭からの徴収となっている。PTA会費から捻出している学校も見受けられる。

【問3】問1「はい」と答えた貴校におたずねします。鑑賞事業・体験事業を実施している効果はありますか。また、その理由をお教えてください。

はい → (理由: )

いいえ → (理由: )



はい →理由: \*生の舞台を見せることで文化発表会等、自分たちの劇をつくっていく時のためにもなるので。

\*質の高いものを鑑賞したならば、効果は考えられる。

\*情操教育として一定の効果はある。

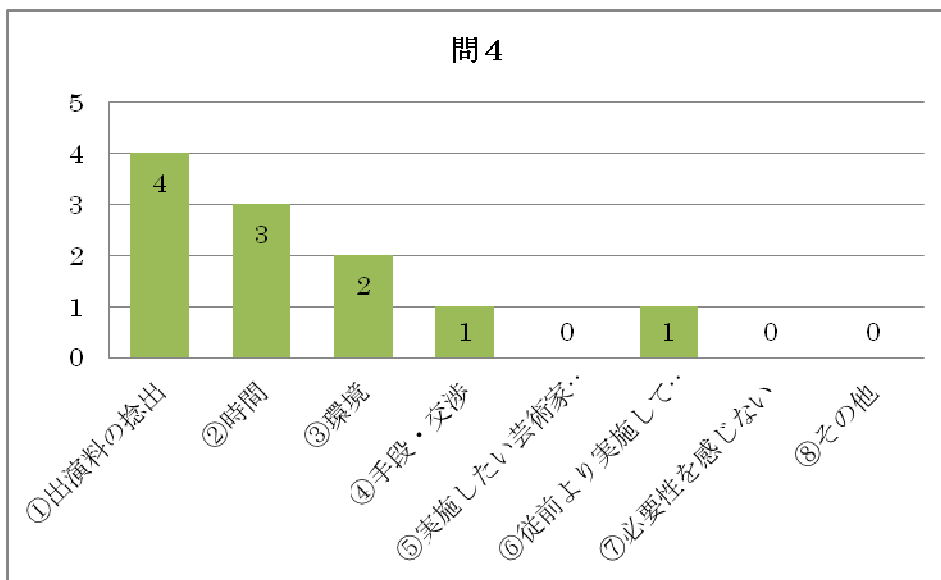
\*日頃触れることのない芸術を目の当たりにすることによって感性が刺激される。

\*平和学習とリンクして実施している。

■芸術文化事業を実施している全ての学校で効果があると回答。

【問4】問1で「いいえ」と答えた貴校におたずねします。鑑賞事業・体験事業を実施しない、もしくは実施しづらい理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 芸術家・実演団体の出演料・委託料の捻出
- ② 学校のカリキュラムとのかね合いで実施する時間がない
- ③ 芸術家・実演団体を受け入れる環境が整わない(会場の確保・設備など)
- ④ 芸術家・実演団体を選択するにあたり、手段や交渉がわからない
- ⑤ 実施したいと思う芸術家・実演団体がない、またはわからない
- ⑥ 従前より実施していないから
- ⑦ 実施する必要性を感じないから
- ⑧ その他(具体的に： )

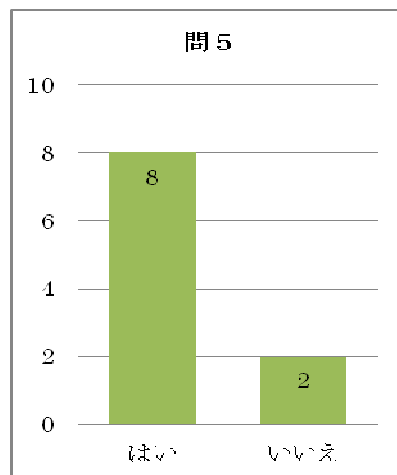


■ 芸術文化事業を実施していない学校で最も多い理由は出演料・委託料の捻出が難しいとの回答。続いて、カリキュラムとのかね合い、環境が整わないと続いている。各学校における問題点は多岐にわたることがわかる。

【問5】マドカホール(文化会館)では、市立小・中学校が児童・生徒を対象とした芸術鑑賞行事を行う場合、ホール会場費、附属設備費(照明・音響・舞台機構の設備費)の負担が免除される事業があります。貴校は、この制度について知っていましたか

はい → 問6へ

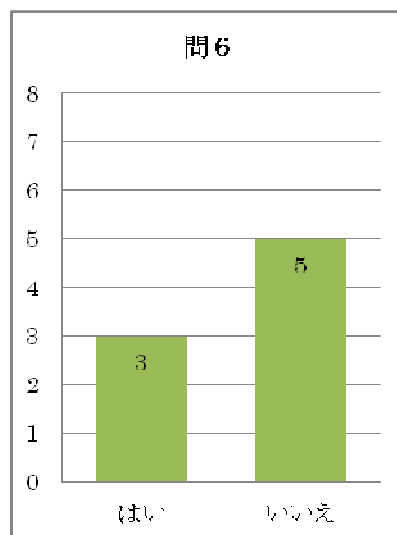
いいえ → 問7へ



■芸術鑑賞行事を行う際の会場費、附属設備費の免除を知っている学校が多数だが、知らない学校も存在することがわかる。

【問6】問5で「はい」と答えた貴校におたずねします。貴校は、問5の制度を利用したことがありますか。

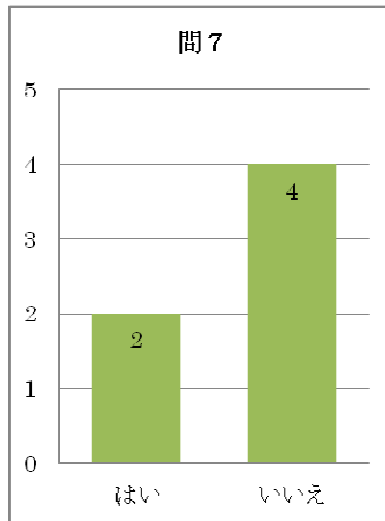
はい →問9・10へ  
 いいえ →問7へ



■知っている学校であっても実際に制度を利用する学校は少なく限られている。

【問7】問5で「いいえ」と答えた貴校におたずねします。この制度を利用したいと思いますか。

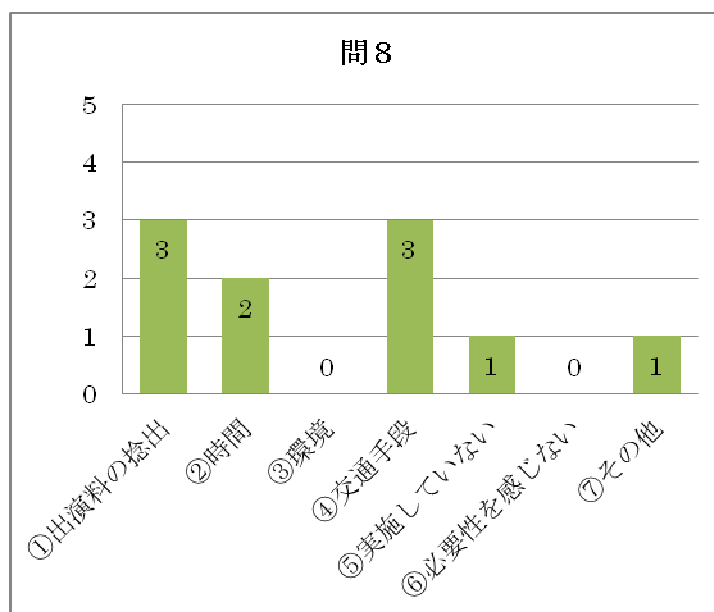
はい →問9・10へ  
 いいえ →問8へ



■利用したいと思わない学校が多く、会場費、附属設備費以外の負担が大きいことが考えられる。

【問8】 問7で「いいえ」と答えた貴校におたずねします。芸術鑑賞事業の制度を利用しない、もしくは利用しづらい理由は何ですか。（複数回答可）

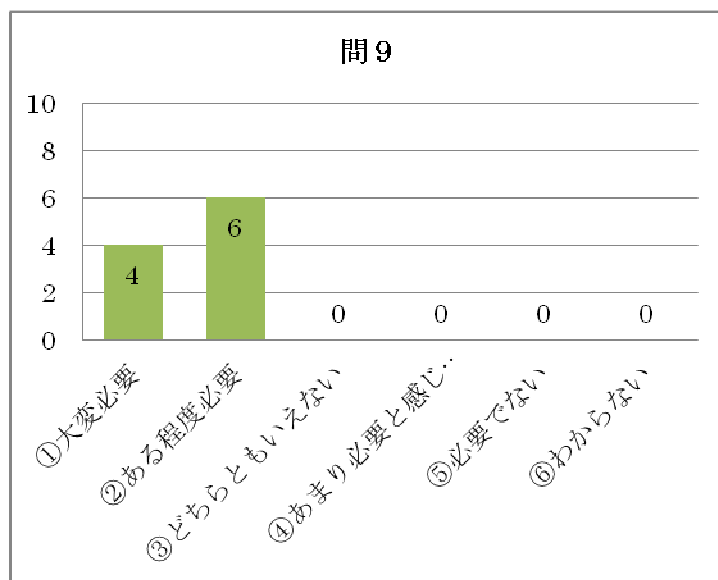
- ① 芸術家・実演団体の出演料・委託料の捻出
- ② 学校のカリキュラムとのかね合いで取り組む時間がない
- ③ 芸術家・実演団体を受け入れる環境が整わない
- ④ 学校からマドカホールまでの交通手段が不便
- ⑤ 従前より実施していないから
- ⑥ 実施する必要性を感じないから
- ⑦ その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )



■「出演料・委託料の捻出」と「マドカホールまでの交通手段が不便」が最も多く、続いて「カリキュラムとのかね合い」が多い。マドカホールから遠い学校の利用は難しいことが考えられる。

【問9】すべての貴校におたずねします。生徒に対して芸術分野を鑑賞させたり、体験させることへの意義や必要性を感じますか。

- ① 大変必要である
- ② ある程度必要である
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり必要であると感じない
- ⑤ 必要でない
- ⑥ わからない



■全ての学校で芸術文化事業は必要であるとの回答。

【問10】その他、貴校で実施する鑑賞行事・体験事業に対するご意見や、芸術分野以外のさまざまな文化活動の取組み事例、その他自由にご記入ください。

\* 以前は演劇や音楽等、舞台芸術の鑑賞をしていたが、年々生徒数が減少し一人の負担額がとても大きくなり、映画鑑賞に変えたりしている。

でもなかなか家庭からそういった生の舞台を観に連れて行くような家庭環境の家は少ないのでできれば観させてやりたいという思いは職員の間では強い。

小規模校に対するそのような援助を検討していただければとてもありがたい。

\* 文化庁が主催する鑑賞行事は費用もかからず日程の調整がつけば、参加型で実施できるのでとても良



いと思う。

学校を離れる鑑賞行事は移動にも時間がかかるので1日の行事になってしまい、授業時数を確保することから考えても本校では難しいと思う。

\* 次年度より授業時間数確保の為、鑑賞行事はなしになった。合唱コンクールは3年でマドカホールを利用している。

\* 鑑賞行事を実施する際に心配されることは、インフルエンザ等の感染症の問題である。流行中に実施することは問題がある。また、出席停止等になった場合、キャンセルできない劇団もある。そのあたりの取り扱いが難しく感じる。

\* 生徒のみの鑑賞では免除されるが、保護者も一緒に鑑賞した場合有料と聞かされた。座席が余っているのに残念でならない。何とかならないものでしょうか？

**■** 中学校は10校(11校中)から回答があった。事業を実施しているのは、半数の5校という結果である。実施傾向としては、鑑賞事業が大部分を占め、内容としては演劇・人形劇が最も多く、その他はミュージカルや伝統芸能等多岐にわたっている。費用の捻出については家庭からの徴収が多い。出演料・委託料は全事業 20 万円以上と最も高い選択肢となっている。実施場所は概ね校内で実施している。

事業を実施していない中学校で最も多い理由は出演料・委託料の捻出が難しいとの回答。続いて、カリキュラムとのかね合い、環境が整わないと続いており問題点は多岐にわたることがわかる。

また、会場費・附属設備費の減免制度があるが、実際に利用する学校は少なく、会場費・附属設備費以外の要因によって、マドカホールの減免制度は利用されていないと考えられる。

ただし、回答のあった全ての中学校において芸術分野の事業実施の必要性は認められている。

